

平成28年度「市役所の仕事」花まる通信簿(平成27年度実績)

担当課 25産業振興課

<b>Plan</b>	◆事務事業の概要◆		会計区分	一般会計	事業通番	900	事務事業コード	2515
事務事業名	島の応援団推進事業			開始年度	平成22	終了年度	平成28	
種類	ソフト事業(任意)	根拠法令	無し		例規等	無し		
将来ビジョン	1. 産業の振興 (3)産業間連携と雇用の確保					H26:重点	●	政策○ ●
H27施政方針	1. 人口減少対策 (4)産業の振興 ③ 地産地消の一体的政策					H27:重点	●	政策○ ○
H28施政方針	1. 元気な産業と安定した雇用の創出 (4)地域産業を担う人材の確保・育成					H28:重点	●	政策○ -
事業概要	次の5本の柱により、事業を推進する。 1. 佐渡の幸プロジェクト:山の幸に加え、海の幸の利用を促進する。(未利用資源の発掘及び活用) 2. 佐渡宣伝会議:マーケティングに関する研修会の開催(基礎編、実践編) 3. 新企業人育成事業:新人職員講習の実施及び技能検定による資格取得講習会の実施 4. 各種製造業研究・技術開発支援事業:産業創造塾を中心とした座学及びものづくりの実践 5. ものづくり支援センター:専門相談員による支援を行う(技術支援、補助制度の紹介、経営改善などの相談窓口)							
対象	島内外企業・団体・学校等教育機関・地域住民							
意図(対象をどのようにしたいか)	当市の最重点課題の一つである「人口の拡大」「産業振興」を実現するため、課題解決に自ら取り組む意欲ある企業・地域リーダーの取り組みに支援し、官民一体となり課題解決を図る。							

**Do**

◆将来ビジョン成長力強化戦略指標◆

項目名	戦略指標	H24現状	H31目標
生産から販売までを連携させる産業構造改革	市内総生産	1,912億円/年	2,000億円/年
雇用の確保	有効求人倍率	0.78倍/年	県平均並み

◆事務事業の目標(成果)指標◆

算式	目標(成果)指標名	単位	26年度実績値	27年度(評価年度)		28年度目標値	29年度目標値	31年度目標値
				目標値	実績値			
	事業への参加人数	人	630	500	505	500	-	-
	セミナー等延べ参加人数							

◆事務事業を構成する細事業の事業費・成果指標◆

枝番	細事業名	H26決算額	H27決算額		H28当初予算額	H29以降の予算の方向性		重点細事業
			目標値	実績値		H28目標値	事業の方向性	
1	「島の応援団」推進委員会(小委員会含む)	0		0	0	予算	不要	
	指標 委員会開催回数	35	40	35	40	事業	終了	
2	「山の幸」プロジェクト	16		0	0	予算	不要	
	指標 出荷数量(箱)	1500	-	-	-	事業	終了	
3	食の研究会(新たな果樹加工品開発支援事業)	1,259		0	0	予算	不要	
	指標 (試作品)商品開発件数	0	-	-	-	事業	終了	
4	佐渡産業創造塾(各種製造業研究・技術開発支援事業)	3,013		0	0	予算	不要	
	指標 補助事業・委託事業等取得件数	0	-	-	-	事業	終了	
6	新企業人育成事業	650		79	325	予算	不要	○
	指標 研修会・セミナー開催回数	5	6	5	6	事業	終了	
7	新規販路開拓事業(社員通販等開拓事業)	220		0	0	予算	不要	
	指標 取引件数	6	-	-	-	事業	終了	
8	佐渡島人財育成事業(キャリア教育推進事業)	350		0	0	予算	不要	
	指標 セミナー・説明会参加人数	180	-	-	-	事業	終了	
9	佐渡の幸プロジェクト	0		0	0	予算	不要	
	指標 出荷数量	-	1500	1252	1600	事業	終了	
10	佐渡宣伝会議	0		1,548	1,960	予算	不要	○
	指標 マーケティング研修の平均参加者数	-	20	28	20	事業	終了	
11	各種製造業研究・技術開発支援事業	0		2,907	3,339	予算	不要	◎
	指標 佐渡産業創造塾(座学)の平均参加者数	-	40	34	40	事業	終了	
12	ものづくり支援センター	0		0	376	予算	不要	
	指標 相談件数	-	-	-	50	事業	終了	

<b>事業費の合計(千円)</b>		5,508	4,534	6,000
財源内訳	国庫支出金	2,754	2,267	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	3,000
	一般財源	2,754	2,267	3,000

Check		◆事務事業を構成する細事業の評価◆			A：適正である B：検討の余地あり C：見直しすべき	
枝番	細事業名	妥当性	有効性	効率性	課題と対策	
1	「島の応援団」推進委員会(小委員会含む)	B	B	A	民間主導型で事業を推進していくため、関係企業等から意見を聴取し、調整する場として必要な会議である。今後は、更に企業等からの意見を吸い上げ、意見交換を図る場として活用を進めて行く。	
2	「山の幸」プロジェクト				平成27年度から「佐渡の幸プロジェクト」として実施	
3	食の研究会(新たな果樹加工品開発支援事業)				平成26年度で廃止	
4	佐渡産業創造塾(各種製造業研究・技術開発支援事業)				平成26年度で廃止	
6	新企業人育成事業	B	B	A	新人職員等の技術的な研修の場が不足しており、企業も単体では市外の講師招聘が難しい面がある。また、国家資格である技能検定取得のための調整を図る必要がある。ただし、市の補助事業の活用などを図りながら、民間主導で対応できる体制づくりが必要である。	
7	新規販路開拓事業(社員通販等開拓事業)				平成26年度で廃止	
8	佐渡島人財育成事業(キャリア教育推進事業)				平成27年度から「キャリア教育推進事業」で実施	
9	佐渡の幸プロジェクト	C	B	A	佐渡で採れる自然の幸(山菜、鮮魚など)を有効に活用するとともに、市外へ販売することにより外貨獲得を目標にしている。しかし、海の幸である鮮魚はイセス等の設備が整わず、活用が難しいのが現状であり、現在は山の幸である山菜の活用に留まっている。	
10	佐渡宣伝会議	B	B	A	マーケティング面の対応が十分でない市内企業が多い中で、外貨獲得のため、市外への物産展、商談会へ参加するきっかけとなる事業であるが、参加企業は固定化されつつある。今後は、新しい企業等の参加を促進し、市外へ販路を拡大していただく必要がある。	
11	各種製造業研究・技術開発支援事業	C	B	A	技術的、経済的に最先端な情報を学習する場として開催しているが、市内事業者同士の繋がりを広げ、連携を強固なものとするための事業でもあるので、新たな企業の参加を促す。	
12	ものづくり支援センター	B			平成27年度は「島のものづくり支援センター事業【地方創生】」で実施 市内企業の多くが何かしらの悩みを抱えていると思われるが、その課題の解決のためには、専門的知識と技術が必要であり、相談員の配置は非常に有効である。今後も引き続き、相談員を配置し、積極的に市内事業者の支援を図る必要がある。	
Action		◆今後の事務事業の方向性◆				
評価(担当課長)		事業の方向性	終了	予算の方向性	不要	
事業の方向性 (事業全体の課題や改善方策など)		この事業は、以前あった島づくり推進課の事業を継承し実施してきたものだが、現行ではそれに特化して実施すべき事業としてではなく、市内事業者全体の支援策として位置付けるため、改めて全体を見直した中で実施すべき事業である。これを踏まえ、島の応援団推進事業としては、平成28年度を以って廃止とする。				